

CUS-30

# ディップで進める！ データセンター卒業プロジェクト

豊濱 吉庸

ディップ株式会社  
CTO

黒岩 利幸

ディップ株式会社  
商品開発本部 システム統括部  
システム開発3部 システム基盤課

戸叶 誠

ディップ株式会社  
商品開発本部 システム統括部  
システム開発1部 プロジェクトマネジメント課



# 本日お伝えしたいこと

ディップが主力サービスや基幹データベース、  
更にはデータセンタの将来について  
どのように描き、改新してきたのか

# アジェンダ

- ・ディップ株式会社について(豊濱)
- ・データセンタ移行とExadata(黒岩)
- ・クラウドネイティブとデータセンタ卒業(戸叶)
- ・まとめと今後(豊濱)

# 自己紹介

豊濱 吉庸(Yoshinobu Toyohama)

- ディップ株式会社 CTO
- 1977年 大阪府生まれ
- ヤフーなどを経て、現在6社目
- 「樂をすること」がエンジニアの価値



# ディップ株式会社について

社名	ディップ株式会社
設立	1997年3月
代表	富田英揮
所在地	東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー31階
従業員数	2,173名（2021年4月1日時点 正社員）
売上高	324億円（2021年2月期）
営業利益	73億円（2021年2月期）

# ディップ株式会社について

dip ディップのバイト情報  
**バイトル**

**面接コボット** 

# ディップ株式会社について

人材サービスとDXサービスを提供する

『労働力の総合商社』として、労働力の諸問題を解決します

## 人材サービス事業 (Human Work Force)



## DX事業 (Digital Labor Force)



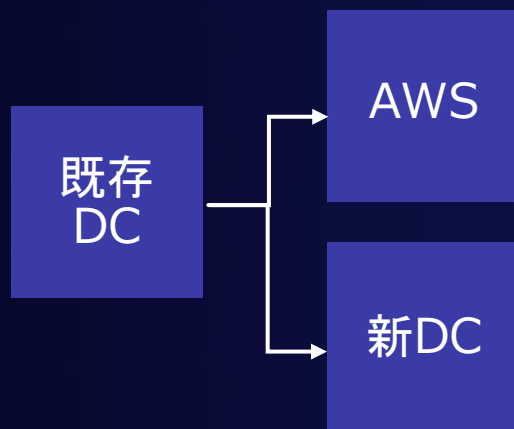
# ディップ株式会社について(エンジニアリング)

- 会社全体で2000人以上の従業員がいる
  - エンジニアは全社でも約100人
- テクノロジ企業へと進化しようとしている
  - まさにエンジニア組織を形成している開店準備期
  - そのフェーズで参加できるのめっちゃ楽しそう、と思って入社した



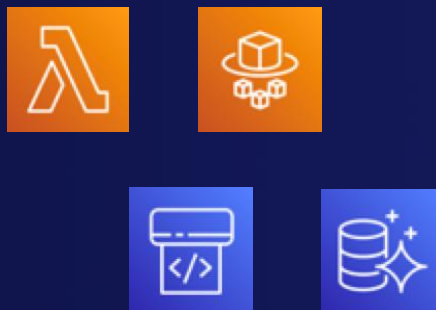
# エンジニアリングの現在地

## データセンタ移行 (～2021.12)



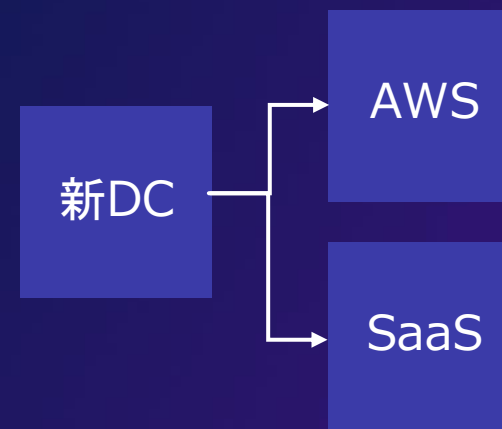
既存データセンタからのアマゾン ウェブ サービス (AWS)、新データセンタへの移行を進めた

## クラウドネイティブ (進行中)



リソースの最適化・柔軟性の高いアーキテクチャへの進化

## データセンタ卒業 (2022～)



新データセンタへ移行したものをAWS、その他SaaSへと移行する

# データセンタ移行とExadata

黒岩 利幸

ディップ株式会社 / dip Corporation



# 自己紹介

黒岩 利幸 (Kuroiwa Toshiyuki)

ディップ株式会社

2012年入社  
システム開発3部システム基盤課  
インフラリーダーとして10年間在籍

- ナースではたらこ
- はたらこねっと
- バイトル ～現在～



なぜ移行したのか、きっかけ

# 旧DCのサービス終了

約2.5年前に告知

# 移行方針の策定

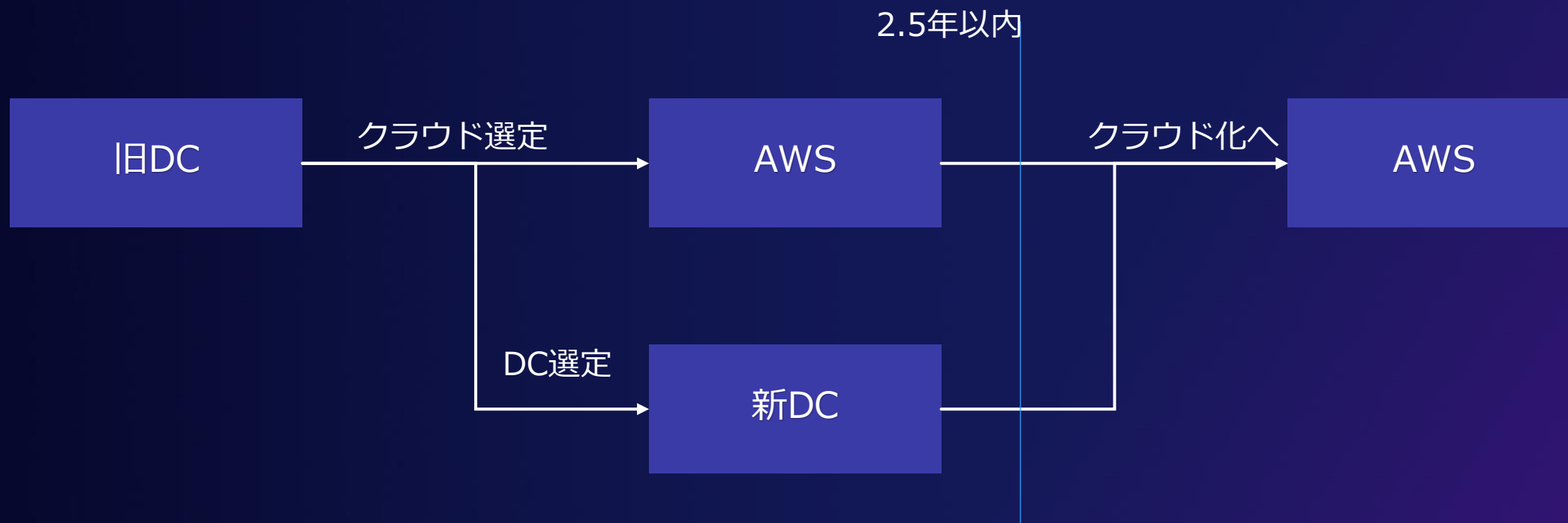
旧DCからの退却 ⇒ 工数がかかる

旧DCでの課題

- ・ 機器調達に時間がかかる
- ・ 機器がオーバースペックになる
- ・ 機器購入時のサイジングが手間

クラウド化へ

# 移行方針の策定



クラウド化できるシステムはクラウド化、できないものは新DCへ移動  
クラウド化はLift & Shift を採用 (リアーキテクチャはしない)

具体的な移行

環境構築

AWSへの移行 (Lift & Shift)

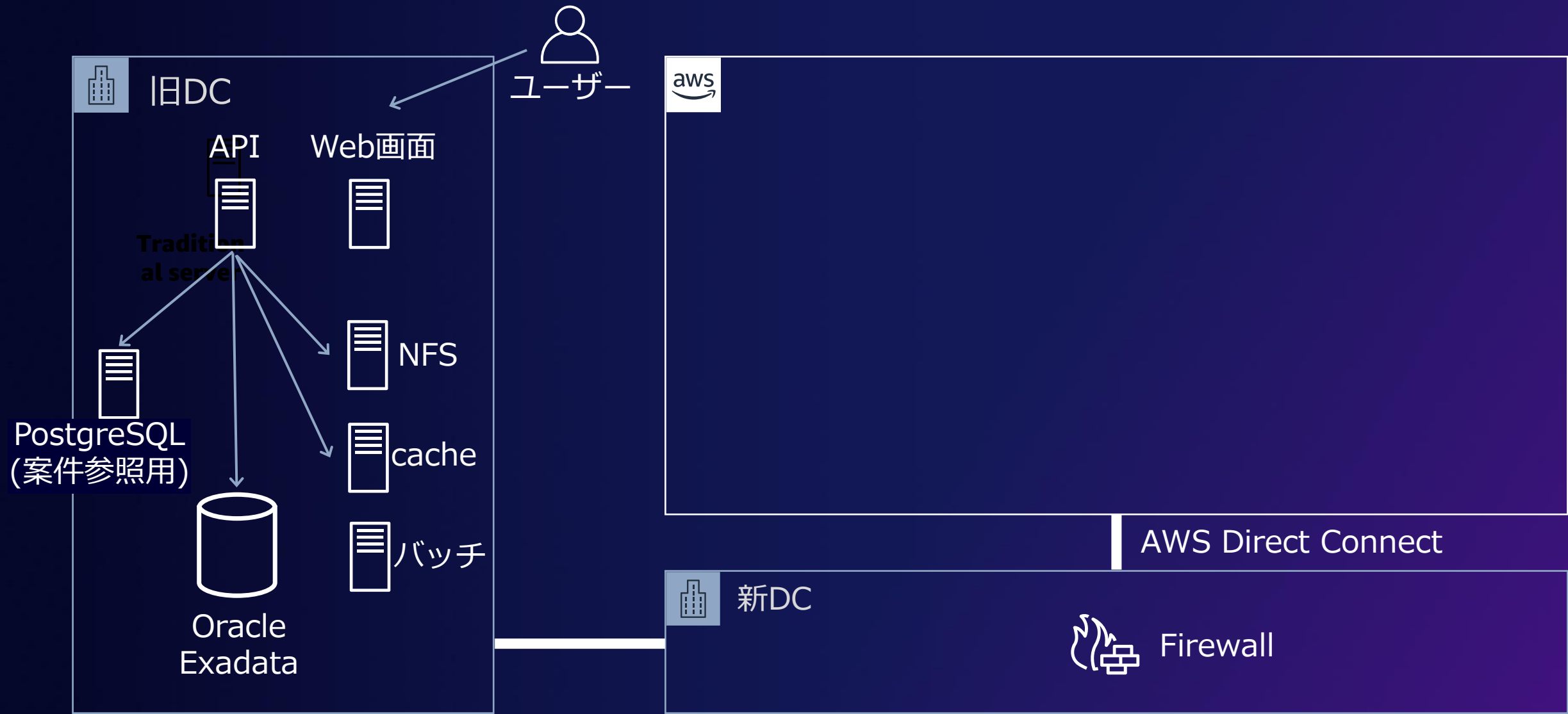
新DCへの移行

具体的な移行

# 環境構築



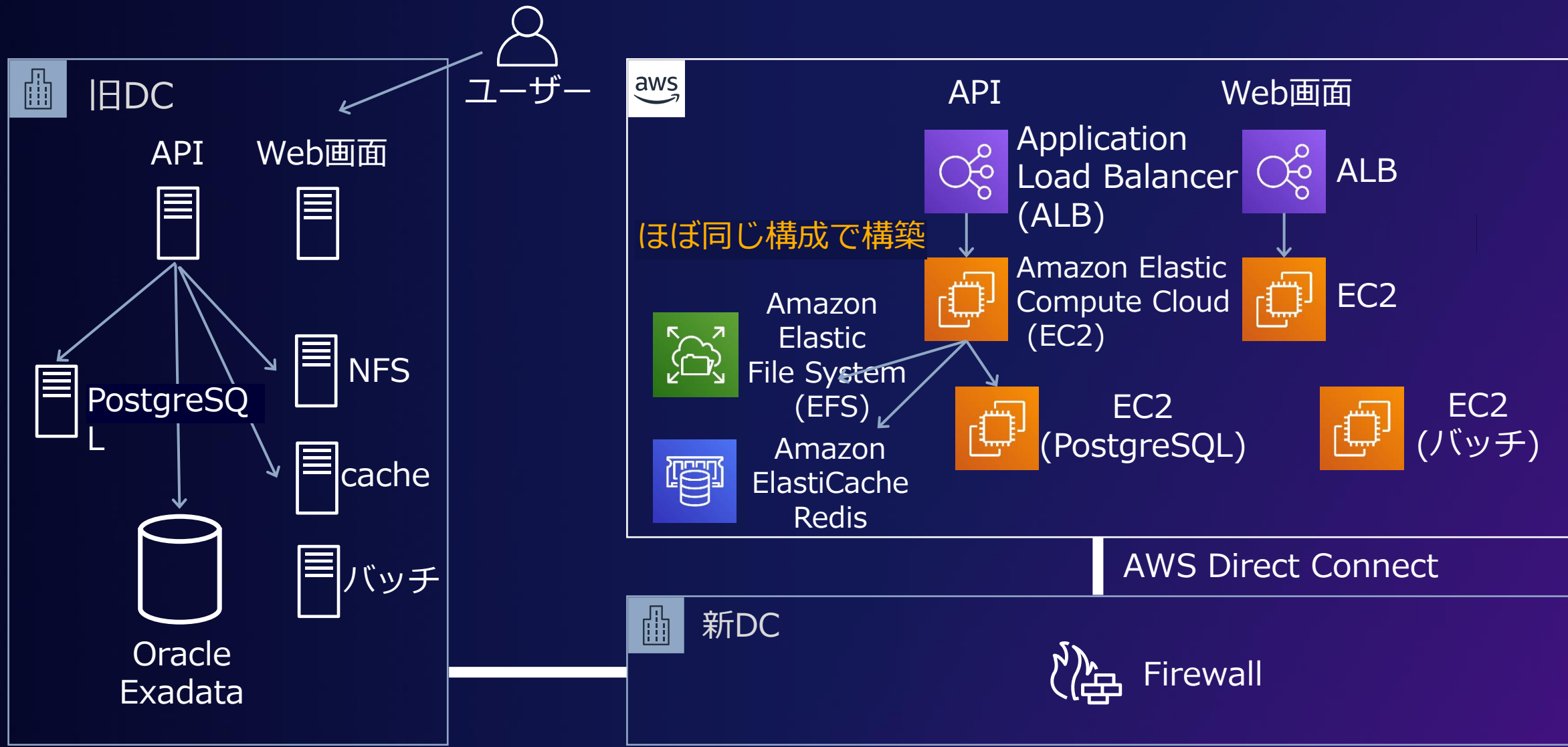
# 具体的な移行



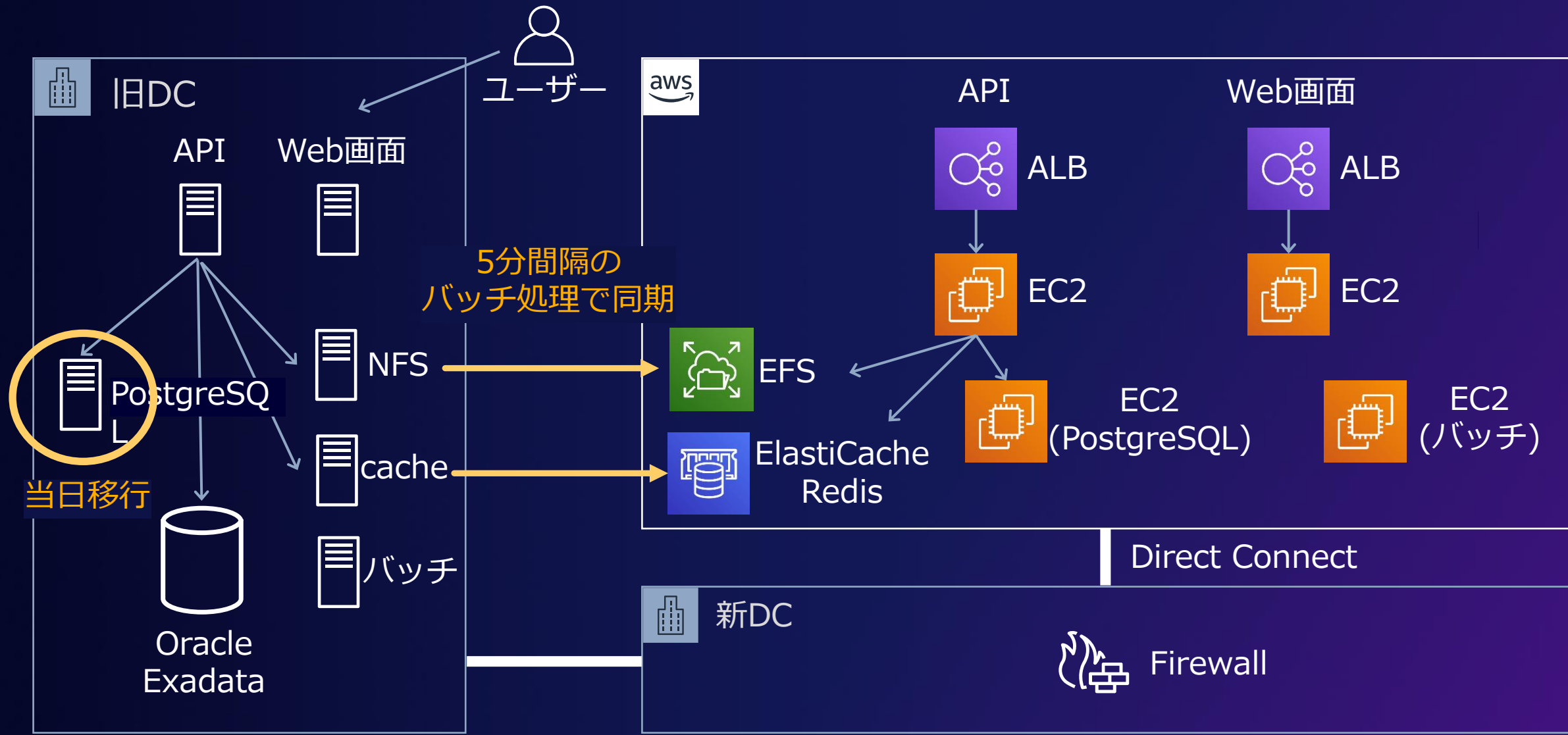
# 具体的な移行

## AWS移行 (Lift & Shift)

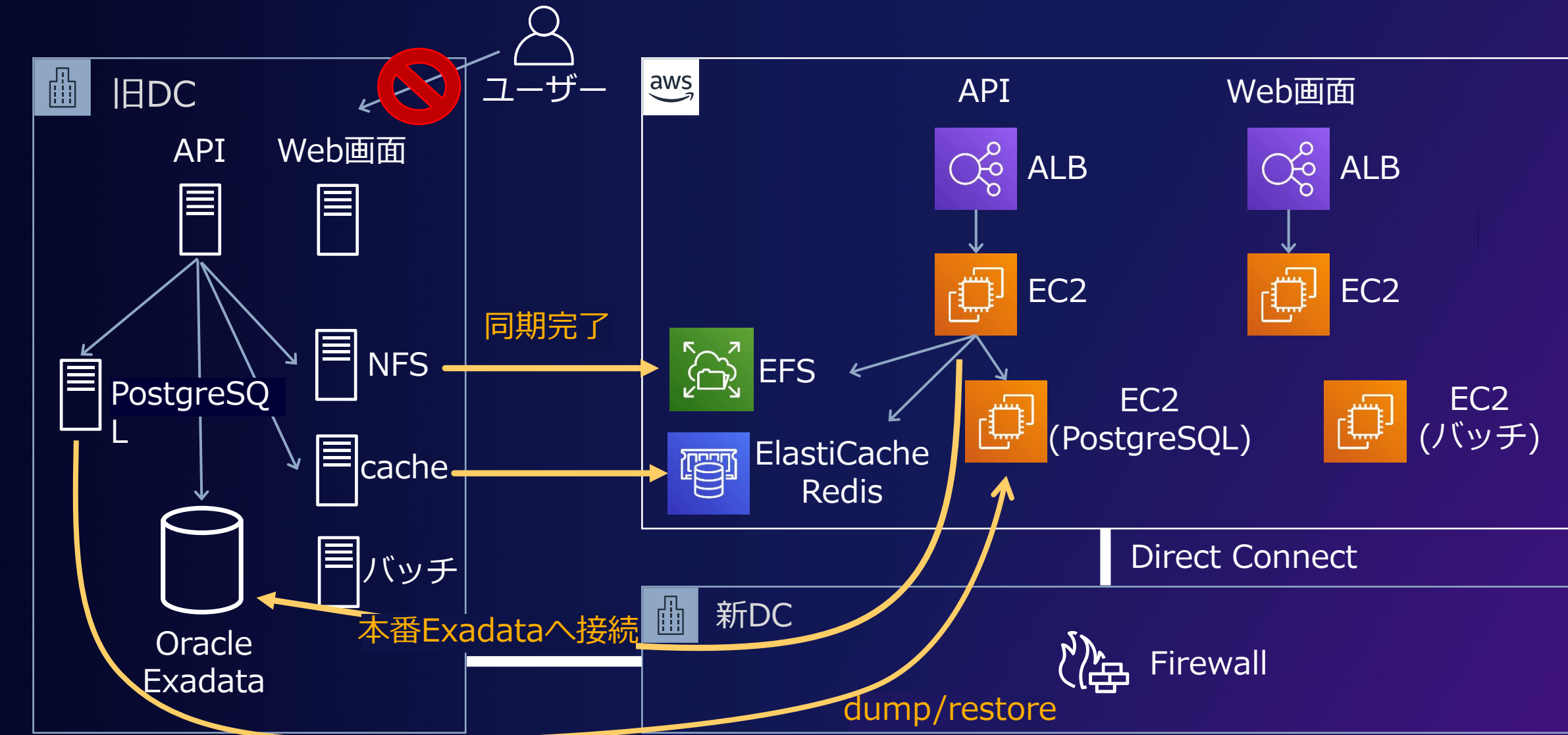
# 具体的な移行



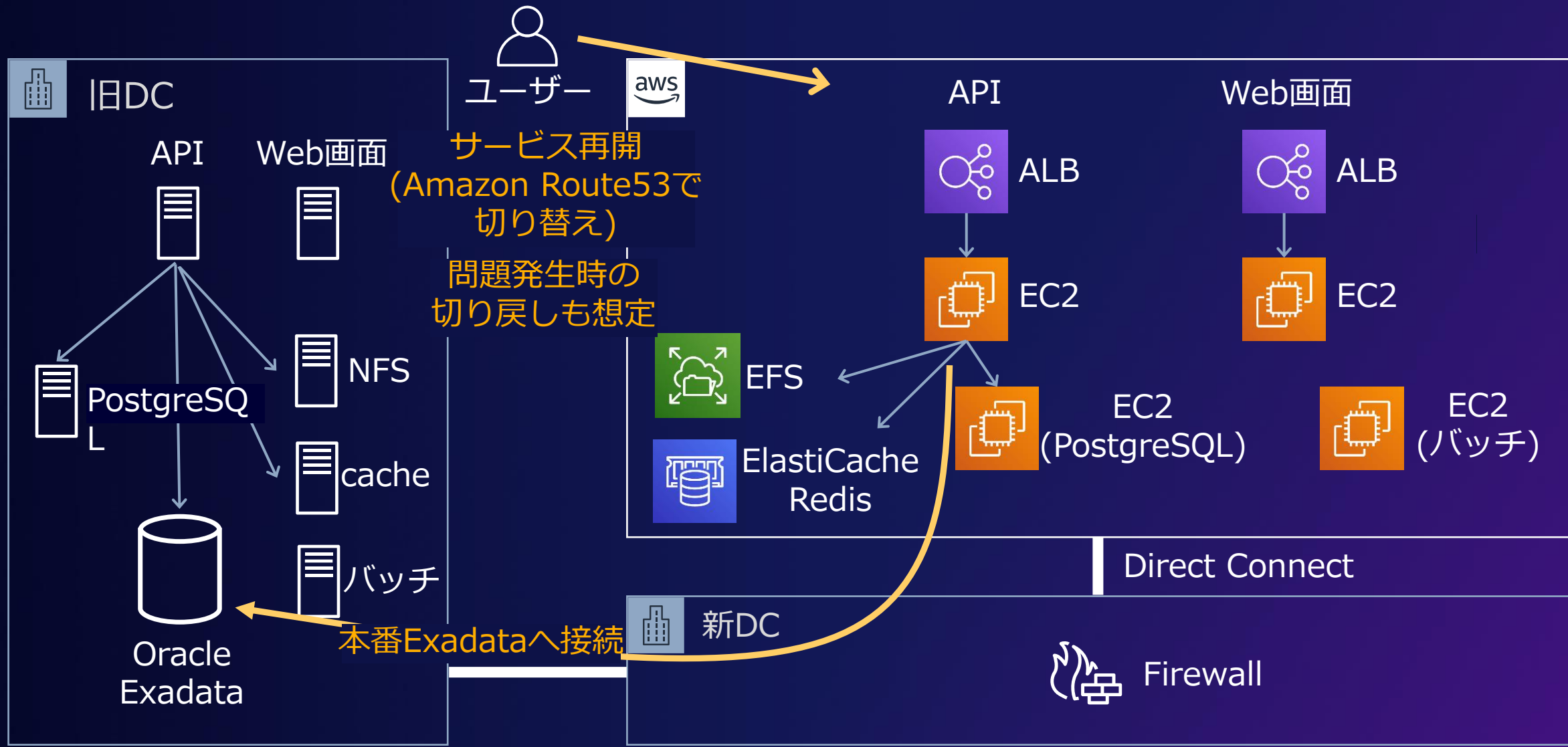
# 具体的な移行



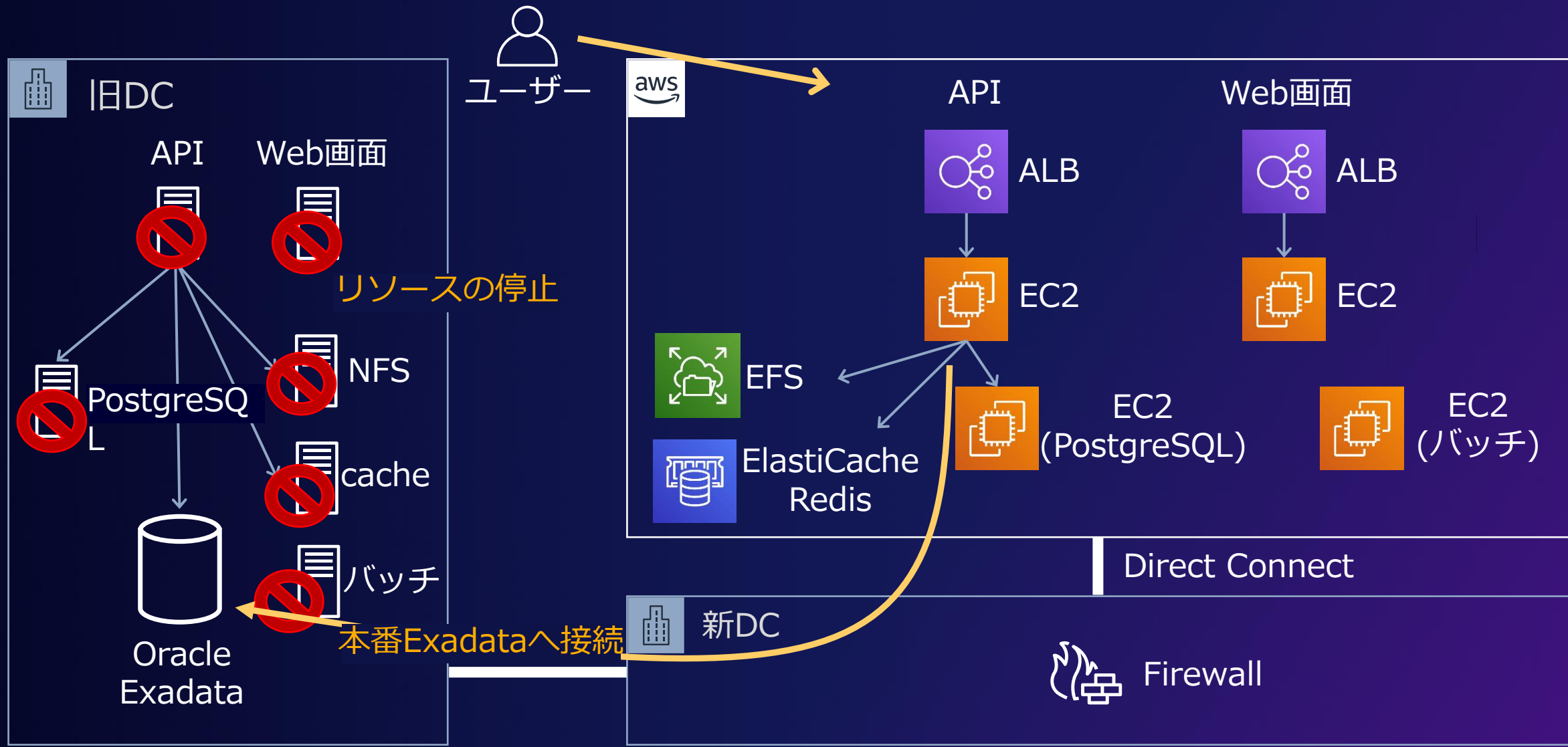
# 具体的な移行 移行当日



# 具体的な移行 移行当日



# 具体的な移行

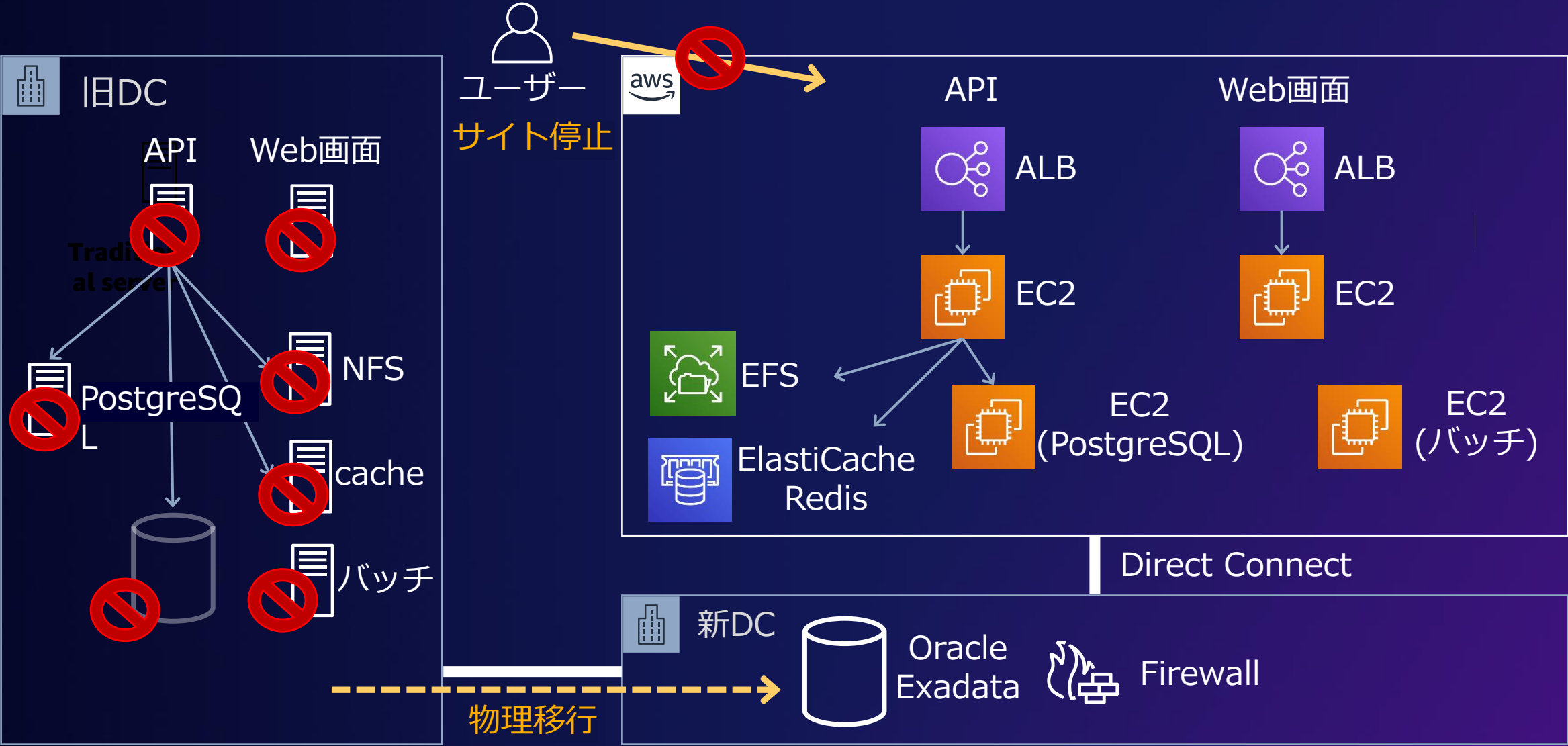


# 具体的な移行

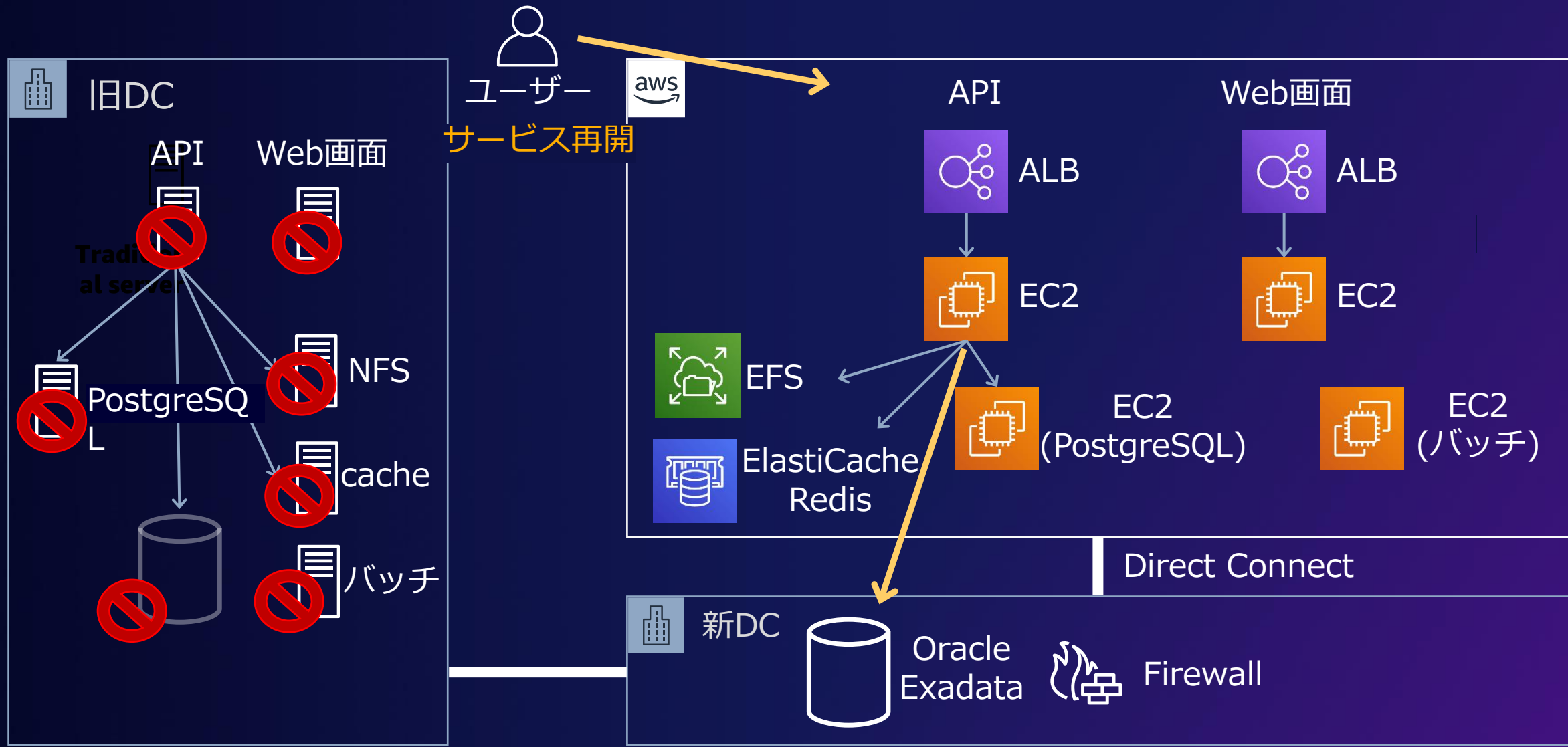
## 新DC移行



# 具体的な移行



# 具体的な移行



# 具体的な移行

## バイトルサイトの移行スケジュール



★：本番



# ふりかえってどうだったか

- ・ 期限以内に特に大きな問題もなく旧DCから脱却することができた。

段階的移行で影響を限定的に

AWS移行をLift & Shift にすることで、開発期間を縮小化

AWSの手厚いサポート

- ・ Lift & Shiftしただけではコストが割高。

オーバースペックの解消及び、クラウドネイティブ化することで解消見込み。

# クラウドネイティブとデータセンタ卒業

戸叶 誠

ディップ株式会社 / dip Corporation



# 自己紹介

戸叶 誠 (Makoto Tokano)

防衛業界の組込システムを請け負う企業でPGとSE、防災業界メーカーでSEとPMを経験後、2019年にdipに入社。

主にクライアント様向けWEBシステム開発のプロジェクトマネージャを担当。



# 解決したいこと

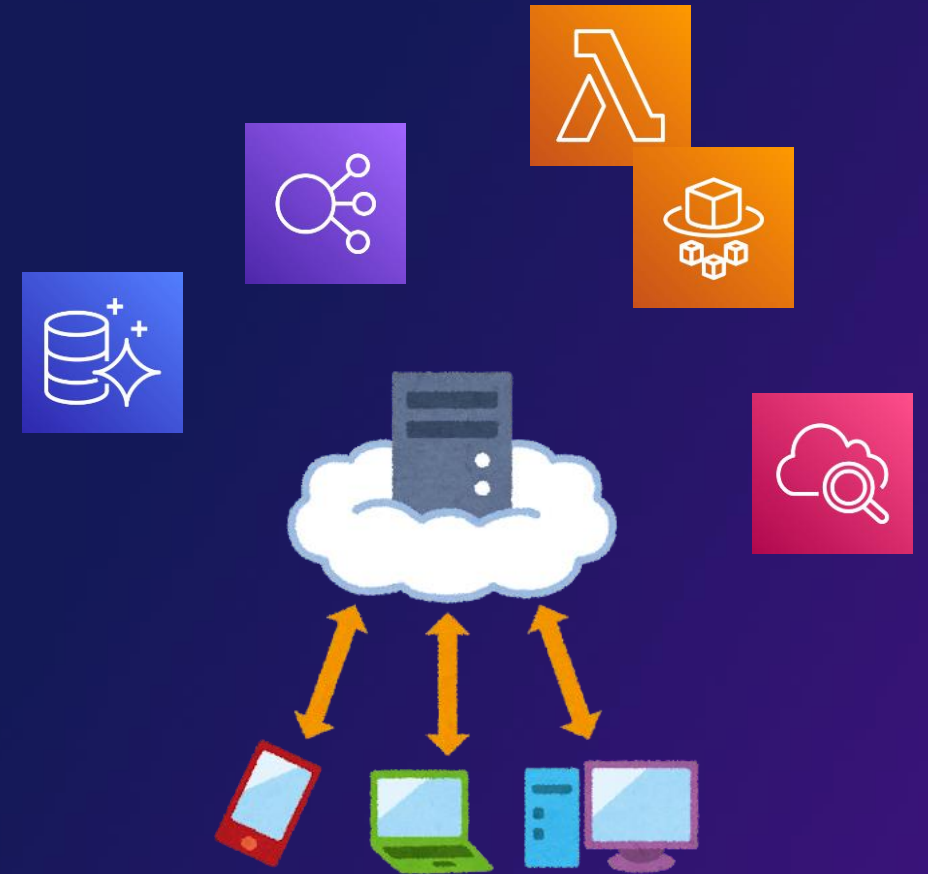
サービス開発を加速させたい！という組織の思いを実現するために、メンテナンスやリソースの融通等でボトルネックとなっているオンプレミス環境を無くしたい！



# ビジョン

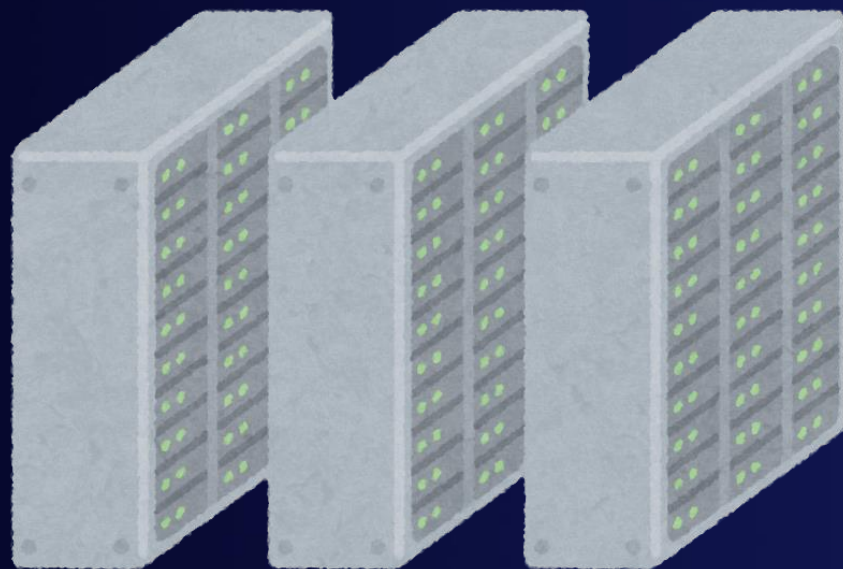
目指しているビジョンは3つ

- 完全クラウド化
- スケーラビリティなシステム
- クラウドエンジニアが集まる場所





# 最も大きな課題



オンプレミス環境といっても色々あるが、最も大きな課題は基幹データベースがオンプレミス環境であること。

これをクラウド化する必要がある。

# 移行先の検討

移行先はAmazon Aurora PostgreSQLを選択。

Oracleを利用するという選択肢もあったが、より弊社サービスとマッチしているAuroraを選択。



## Performance and scalability

Up to 5x throughput of standard MySQL and 3x of standard PostgreSQL; scale-out up to 15 read replicas



## Availability and durability

Fault-tolerant, self-healing storage; six copies of data across three AZs; continuous backup to Amazon S3



## Highly secure

Network isolation, encryption at rest and in transit



## Fully managed

Managed by Amazon RDS: no server provisioning, software patching, setup, configuration, or backups

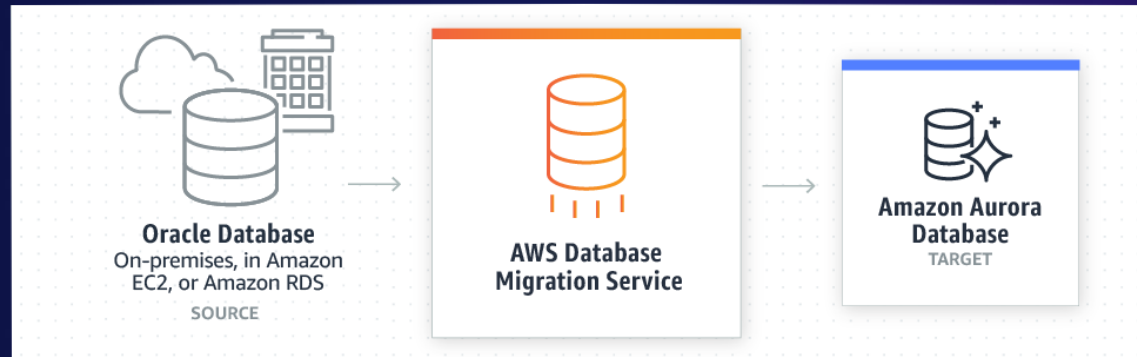
# 移行の検証

AWS Schema Conversion Tool(SCT )と  
AWS Database Migration Service(DMS) を利用して移行の検証。

STEP  
1

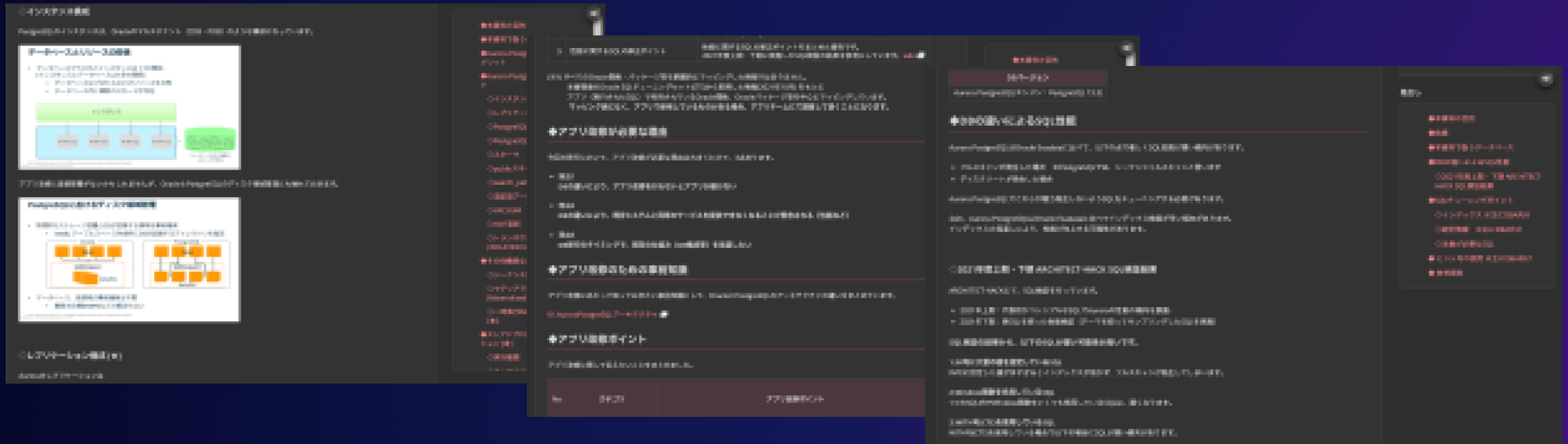


STEP  
2



# SQL修正のための準備

修正に役立つガイドラインと、SQLレビューチームを作成し、フォロー体制を整えた。



# これから本格的に開始



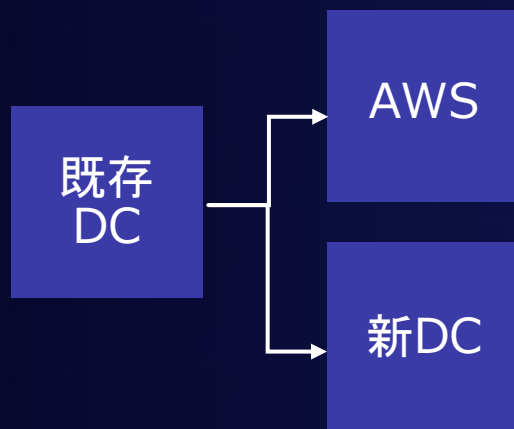
# データセンタ卒業のまとめ

- サービス開発を加速させたい！・・・が課題あり。
- データセンタ卒業プロジェクトで3つビジョンを目指す。
  - 完全クラウド化
  - スケーラビリティなシステム
  - クラウドエンジニアが集まる場所
- 約1年かけた調査・検討と体制作りをしてきた。

# まとめ

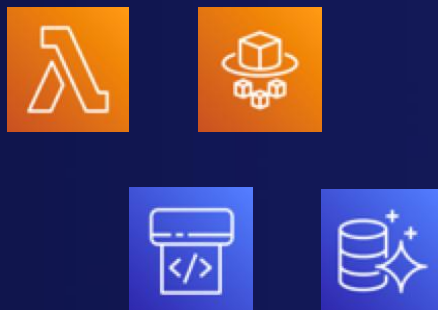
# エンジニアリングの現在地

## データセンタ移行 (~2021.12)



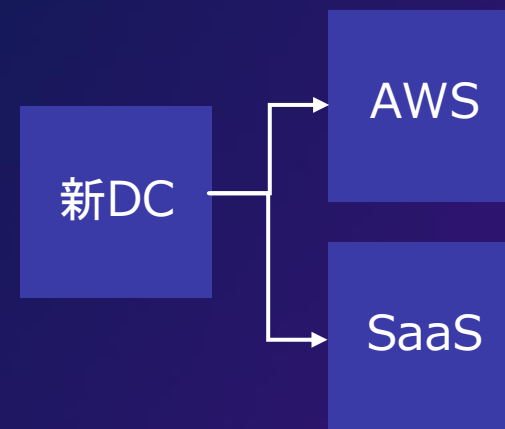
既存データセンタからのAWS、新データセンタへの移行を進めた

## クラウドネイティブ (進行中)



リソースの最適化・  
柔軟性の高い  
アーキテクチャへの進化

## データセンタ卒業 (2022~)



新データセンタへ移行したものをAWS、  
その他SaaSへと移行する



# まとめ

- 本日はご紹介したのは、全体の取り組みのほんの一部
- まだまだ進化させるべきものはたくさんある
- 進化→効率化→事業貢献→さらに進化のサイクルを作っていく
- そんな仲間を大募集中

# Thank you!

豊濱 吉庸

ディップ株式会社  
CTO

黒岩 利幸

ディップ株式会社  
商品開発本部 システム統括部  
システム開発3部 システム基盤課

戸叶 誠

ディップ株式会社  
商品開発本部 システム統括部  
システム開発1部 プロジェクトマネジメント課

